



南部町立南部中学校 学校だより 第4号

チーム南部中

令和4年6月6日(月)
校長 望月和彦

自分と仲間の成長を喜び合える学校を

感染症拡大防止のため延期していた生徒総会が、6月2日の5・6校時に体育館で行われました。会のはじめに芦川圭澄生徒会長から「生徒総会は1年間の南部中の方向性を確認する大切な会であり、生徒員が集まって話し合い決定していく場です。一人一人の意見を共有する機会は1年を通しても多くはありません。議案書検討の時間に考えていただいた意見を活発に出してもらいたいと思います。1年生は初めての総会なので、この会の中で南部中の伝統や文化、決まりなどを確認しながら意見を出して欲しいと思います。2年生は半年後に『南部中の顔』となる意識を持ちながら話し合いに参加して欲しいともいます。3年生は生徒会活動を牽引していく立場であり、『3年生としてふさわしい姿』を総会の中で示していきましょう。」とのことがありました。



議事の前に、生徒会事務局がスライドをつかって本校の校訓、めざす生徒像、実践理念と、これまでの生徒会が創り上げてきた南中文化の説明を行い、その上で、令和4年度の生徒会目標、スローガン、目標を達成するための2つの柱などの中心となる話し合いが行われ、次のような内容が決定しました。

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 【生徒会目標】 | 「自分と仲間の成長を喜び合える学校」 |
| 【生徒会スローガン】 | 「変化をつかむ」 |
| 【目標を達成するための2つの柱】 | |
| | 1 主体性を持って行動し、経験を活かすことができる南部中生 |
| | 2 仲間の個性を認め、活動の場を広げることができる南部中生 |

生徒会目標とスローガンには、より良い学校をつくっていくためには、一人一人が成長しようと努力することと同時に、仲間の成長を支え、互いに成長を実感し合い、認め合う中で、すべての生徒が学級・学年・学校に必要とされていると思えるような学校をつくりたいという考えが込められています。また、今の自分に満足せず、新たなことに挑戦したり、苦手なことも立ち向かったりすることで、より良い変化を目指していきたいこと。自分ばかりでなく、仲間もより良く変化できるように、励ましたり、支えたり、時には厳しく忠告したりすることで、喜びを分かち合っていこうという願いが込められています。議事の中では、それぞれの学年、学級から多くの賛成意見がたくさん出され、今年度の目標やスローガン、2つの柱の意味を全員で確認することができました。



後半では、委員会や部活動の活動方針や生徒会会計予算案についての話し合いが行われ、最後に、「身だしなみ自主規制」「いじめ追放宣言」について、内容の確認と承認が行われました。「身だしなみ自主規制」は、これまでの生徒会が「学校生活の決まり(校則)」以外に、より良い学校生活を送るために必要だと考えてつくり、改訂してきた自主的な決まりです。生徒たちが自分たちの現状を考えながら、年度ごとに見直しを行っています。



休憩を挟んで2時間余りの総会でしたが、提案したり、意見を述べたりする姿勢、話を聴く姿勢、班で話し合う姿勢も大変良かったと思います。令和4年度の本校生徒会が決定した方針のもと、どのような活動を展開し、どのような成果を上げるかとても楽しみです。

県大会で男子バレー一部準優勝 野球部第3位

5月15日(日)21日(土)22日(日)の県選抜野球大会に野球部が出場し、都留市楽山球場、甲府市飯田球場、小瀬スポーツ公園山日YBS球場で3試合を行い、第3位になりました。5月28日(土)29日(日)の県選手権大会には男子バレー部が出場し、笛吹市御坂中体育館、甲州市塩山中体育館で4試合を行い、見事準優勝を果たしました。(県選手権大会では2年連続の準優勝です)県下のほとんどの学校で3月後半まで部活動が停止となり、本校は4月・5月も感染症対策で活動制限をしなければならぬ中で大きな成果です。県最南端の本校の「キラリ」と光る輝きを見せてくれました。結果の詳細は次の通りです。



県選手権大会 男子バレー部	1日目：対高根中 2-0 勝利 対田富中 2-0 勝利 2日目：対若草中 2-1 勝利 <決勝>対城南・富竹・東中合同チーム 1-2 敗退 【準優勝】
県選抜野球大会 野球部	1日目：対河口湖南中 6-1 勝利 2日目：対都留二中 8-1 勝利(5回コールド) 3日目：<準決勝>対富士学苑中 0-2 敗退 【第3位】

総体選手激励会



6月9日(木)11日(土)に峡南地区中学校総合体育大会(地区総体)が行われます。運動部の3年生にとっては中学校の部活動の締めくくりとなる大会であり、3年生が最大の目標にしてきた大会です。地区を勝ち上がると県大会、さらには関東大会、全国大会にもつながっています。3日(金)の放課後、生徒会主催の選手激励会を行いました。例年の場所は体育館でしたが、今年度は感染症



対策として外のウッドデッキで激励会を行いました。野球部、男女バレー部、男女バスケ部、男女ソフトテニス部の選手がウッドデッキのひな壇に並び、各チームの主将(部長)が決意発表を行いました。そして、今大会で幕を閉じる男女バスケ部の主将、渡辺琉偉さんと萩原音色さんが選手宣誓を行いました。「私たちは、南部中の選手であるプライドを胸に、ともに汗を流した仲間、周りで支えてくれた家族、応援してくれる多くの方々を背負い、最後の最後まであきらめないでプレーすることを誓います」と堂々と述べてくれました。そして、応援委員会の生徒と文化部や選手以外の生徒たちによる応援が行われました。ピンと張り詰めた空気の中、南部中の応援旗がはためき、応援委員会の気迫がこもった演舞と太鼓の音、応援する生徒の一糸乱れぬ拍手と動きがあり、全校生徒の気持ちがつながるひとときになりました。それぞれの大会会場で「キラリ」と光る南部中魂を見せてくれることを期待しています。

チャレンジデー2022

「チャレンジデー」は、毎年5月の最終水曜日に全国の市町村が住民に15分程度の運動を呼びかけ、その達成率を競い合うイベントです。南部町も参加するというので、中間テスト2日前の難しい日程でしたが工夫して本校も協力することにしました。昼休みに体育館に全校生徒が集まり、体育科の遠藤浩正教諭、佐野葵教諭から「テスト勉強に役立つストレッチの方法」を教わりました。長時間机に向かっていると、身体の血行が悪くなり、腰や肩や首などの筋肉が疲労してくるそうです。その疲労を改善し学習に集中するためにはストレッチがとても有効だそうです。短時間でしたが、みんな楽しそうに取り組んでいました。中間テストの結果に効果があらわれたのでしょうか。ちなみにチャレンジデーでは北海道の東神楽町と対決し、本町は67.8%で見事勝利したそうです。

